

令和2年度 東京都立第五商業高等学校経営報告（定時制課程）

本校は、昭和23年に定時制課程の設置が許可されてから70年の伝統に支えられた、多摩地区唯一の商業高校である。開校以来、地域に根ざした教育を実践し、これまで4千名以上の卒業生を輩出し、各方面で活躍している。商業の専門高校としての本校は商業の専門高校としての使命を果たすため、商業に関する専門的知識と技術を習得させ、人間性を磨き、社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、自己実現に主体的・創造的に取り組む人間を育成していく。

重点項目	【評価基準 A：満足 B：概ね満足 C：不満足】※（ ）内の数値は令和元年実績
------	---

1 学校経営・組織体制

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①組織力を強化した学校運営の推進	<p>【取組】各学年担任が共通理解を図り、計画的な学級経営を行った。また、校務分掌、教科の中間まとめや年間総括に基づいた課題解決と、自律経営推進予算の効果的な編成・実施・管理に取り組んだ。学校が保有する個人情報の取り扱いについては、「取り扱い基準」に照らし、適正に管理した。</p> <p>【状況】学校経営の適正化のため、業務のPDCAサイクルを定着させ、組織の改善・充実化に努めている。自律経営推進予算を効果的に活用し、教育効果を最大限に上げるための努力をした。</p>	企画調整会議 全教員	B
②組織的なIT機器の活用	<p>【取組】ITリーダー、ホームページ管理運営委員会を中心に、分散登校時のオンラインHRや新ホームページへの更新を行った。</p> <p>【状況】端末が少ない中、ICT機器を活用した授業を一部で展開できた。</p>	全教員 委員会	B
③喫緊の課題への対応	<p>【取組】創立70周年記念式典の準備を進行した。</p> <p>【状況】周年行事実行委員会を中心に、全日制やPTA、同窓会などの関係機関と協議しながら運営したが、式典は延期となった。周年行事では記念誌編集委員会を中心に記念誌が完成した。</p>	全教員	B

2 学習指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①学力の向上	<p>【取組】教務部を中心に、主体的・対話的で深い学びの指導や評価について研究しながら、本校の教育課程に基づいた質の保証を図った。また、少人数制指導等の授業形態を工夫するとともに、次期学習指導要領に向けた指導と評価を研究し、組織的な授業改善・充実化につなげる努力をした。</p> <p>【状況】語学を育成する授業の充実、小・中学校の学習内容を踏まえた発達段階に応じた授業と、教科横断的な授業の実施をさらに推進する必要がある。</p>	教 科 学 年 教務部	B
②指導力の向上	<p>【取組】教務部を中心に、生徒による授業評価、授業公開等、学校内外での研修成果を生かし、組織的に授業の内容と方法の改善・充実化を図り、学習指導の充実を努めた。今後も全教科で教科の特性や生徒の興味関心を捉え、計画的に外部講師等によるセミナーを開催するなどして、学ぶ意欲を高める。</p> <p>【状況】個々の生徒の特性に応じた学習形態を中心とした日常的なOJTは推進できたが、教員相互の授業参観、校内研修を計画的に推進できなかった。</p>	教 科 教務部 商業科	B
③資格取得推進	<p>【取組】資格取得を年間指導計画の重点事項に位置付け、該当教科が組織的に指導の強化に努めた。また、人間と社会、教科指導をとおして、資格取得のガイダンスを強化し、生徒に目標をもたせ、学期ごとの通知表等でその成果を確認、次の励みとなるように工夫をしている。</p> <p>【状況】コロナ禍の中、ビジネス教育、進路学習、小論文に関わる特設授業はできなかった。情報処理技術者試験や日商簿記検定試験など、高度資格取得の指導力向上のための研修図書を活用を生かした授業を実施した。 日検文書デザイン 1級 取得 1名</p>	教 科	B
④読書に親しみ、読	<p>【取組】全日制課程の教務部や司書教諭と連携し、利用しやすい図書館運営、</p>	教務部	

書率の向上を図る	読書活動の推進など、社会人としての感性をはぐくむ教育環境を整えた。今後も図書館蔵書の更なる充実を図る。 【状況】図書館を活用した授業や、読書活動の推進につながる授業を実施した。図書館や各教科と連携して、夏季休業期間中の課題図書を選定等、読書指導計画の策定及び実施をとおして未読者率の更なる減少を図る。	委員会 司書担当	B
----------	---	-------------	---

3 進路指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①キャリア教育の充実	【取組】進路指導部が中心となって、各組織と連携し、キャリア教育の全体計画に基づく4年間を見通した進路指導の改善と充実を図った。人間と社会等の体験学習をとおして、奉仕や道徳、勤労観・職業観の精神を涵養し、総合的な人格形成、人づくりを行い、生徒の進路希望を高いレベルで実現させるための努力をした。 【状況】就職4名、進学3名	進路指導部 学年 教科	B
②連携と情報の共有	【取組】企画調整会議や日々の情報交換会を実施して校内体制を構築した。 【状況】外部の教育力を活用し、指導の充実に努めるとともに、組織的進学指導体制の構築を目指した。今後も進路ガイダンスや体験学習を通じて、生徒への適切な進路情報の提供に努め、それらを 生徒自らが活用できるよう整備等を進めていく。	進路指導部 学年	B

4 生活指導

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①本校の生活指導規準に則った生活指導の徹底	【取組】「自らの行動に責任をもつ生徒」の育成を基本に、組織的な生徒指導体制を継続した。また、生徒一人一人が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付け、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができる能力を高められる支援をした。「進んで挨拶する学校」「きちんと人の話を聴ける学校」「身だしなみの整った学校」「時間が守れる学校」「清掃がゆきとどいた学校」の5点を生活指導の重点とし指導した。 【状況】今後も都の生活指導指針のもと、規範意識の向上、基本的な生活習慣の確立、マナー教育の充実に努める必要がある。	生活指導部 学年 全教員	B
②生命・人権尊重教育の推進、豊かな心の育成	【取組】生活指導部が中心となり、各学年や生徒会等と連携協力して、登校時の正門での挨拶、学校施設の適切な使用等の徹底を図った。また、「人間と社会」等の学習をとおして、生徒が主体的に行動できる力を身に付けさせた。 【状況】全教員が協力して、毎日校門に立つなど生徒の規範意識の向上、帰属意識の醸成を図れた。また、保健相談部主催のSOSの出し方の教育を実施した。	生活指導部 保健相談部 保健体育科 学年 全教員	A
③美化意識の向上	【取組】教室内の清掃、授業規律の徹底を図り、落ち着きのある授業を実施することで、生徒が主体的に学ぼうとする態度を確立し授業効果を高めた。また、美化活動を通じた地域貢献の充実を図った。 【状況】コロナ禍の中、教室からごみ箱を撤去した生活を継続することが、学校全体のごみの減量につながり今後の社会を考える契機となった。	生活指導部 保健相談部	A
④セーフティ教室、防災訓練の実施	【取組】夜間の教育活動中の大地震などを想定した防災体制の構築や、防災支援隊による避難所の運営など、防災教育を確実に実施して備えた。 【状況】よりよい校内環境の創造のため、安全対策に係る緊急時対応マニュアルを整備し校内組織体制を整備した。また、停電を想定した暗い中での避難訓練を実施するなど、生徒の安全管理、防災対策の充実化を図った。	生活指導部 学年	A

5 特別活動・部活動

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①生徒が主体的・意欲的に参加する魅力ある学校・学校行事の工夫・改善	<p>【取組】学校行事やホームルーム活動にあたり、生徒の積極性・主体性、協調性等を高める指導を担当や行事担当者が協力して行った。</p> <p>【状況】校外学習や修学旅行は中止となったが、レッツ五商では例年以上に生徒の主体性を発揮する場面をつくることができた。</p>	生活指導部 学年 顧問	A
②部活動の活性化	<p>【取組】全学年において生徒の特性に応じた部活動への加入を奨励し、各種競技会への参加と上位入賞を目指した。</p> <p>【状況】生徒の人数減で部活動を維持することが課題である。</p>	生活指導部 学年 顧問	B
③豊かな国際感覚とボランティア精神を育む資質能力の育成	<p>【取組】各教科で日本の伝統・文化、国際交流、国際理解教育を推進した。</p> <p>【状況】オリンピック・パラリンピック教育（国際理解教育）ならびに手話講座を「人間と社会」の学習の中で実施できた。</p>	生活指導部 学年 顧問	A
④主権者教育の推進	<p>【取組】生徒会の選挙公約の実現や、生徒の自治活動の推進など、生徒会活動の活性化を図り、リーダーを育成した。生徒会役員、各委員会、部活動部長が主体となる特別活動の推進を行った。</p> <p>【状況】今年も外部講師による主権者教育の授業を実施した。また、授業や特別活動、防災教育等により、地域貢献を果たし、生徒の自己有用感・達成感を高め、社会の一員としての自覚を育んだ。</p>	生活指導部 教科	B

6 健康づくり

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①心の教育の推進	<p>【取組】保健相談部が中心となり、各学年、スクールカウンセラー等と協力し、美化や保健、心身の健康について、よりよい環境づくりに主体的に関わろうとする生徒の育成を図った。</p> <p>【状況】スクールカウンセラーと連携を図るとともに、特別支援教育についての校内体制を構築し、本校の教育相談機能の更なる向上を図った。また、生徒の心身の健康・体力の向上を図るとともに、学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等とおして、体罰やいじめの根絶を継続している。</p>	保健相談部 生活指導部 学年 教科	A
②体力の向上に努める	<p>【取組】保健体育科が中心となって、学校全体で生徒の体力の総合的な向上を図る努力をした。</p> <p>【状況】体育の授業の中で初めてダンスに取り組み、生徒に挑戦させることができた。また、体力テストは、実施できなかった。</p>	保健体育科 顧問	B
③保健・健康教育の推進	<p>【取組】保健相談部や保健体育科が中心に、食育や、心身の健康、体力の向上等に関する全体計画を作成し、組織的な指導体制を構築し、取り組むとともに、生徒の委員会活動を活性化させる努力をした。</p> <p>【状況】給食喫食率 26.8%</p>	保健相談部	B
④教職員の健康維持管理	<p>【取組】超過勤務の実態を把握するとともに、校内環境の整備と教職員の健康管理に努めた。</p> <p>【状況】健康診断受診率 100%</p>	管理職 全教員	A
⑤教職員のライフ・ワーク・バランスの推進	<p>【取組】教職員の有する教育力を最大限に発揮できるよう、働き方改革、ライフ・ワーク・バランスを推進し、校内環境の整備と健康管理に努める。</p> <p>【状況】年休 15 日以上全員取得。時間外労働 45 時間超えの教員 0 名。</p>	管理職 全教員	A

7 募集・広報活動

今年度の取組目標	具体的な方策	担当等	評価
①募集・広報活動の充実	<p>【取組】ホームページを適時更新し、コロナ禍の教育活動の状況などを積極的に発信し学校広報活動を推進した。中学生や保護者の定時制・商業高校に対するニーズを把握し、学校広報活動を充実させるとともに、今後も学校案内やチラシを工夫するなどして、五商の学校広報活動の充実化を図る。</p>	教務部 委員会 全教員	B

	【状況】応募倍率0.3倍(0.17倍)、		
②学校情報の発信	【取組】学校からの日常の連絡やメール配信、ホームページの充実、保護者会等の開催により、家庭と学校との緊密化を図った。今後も各家庭との学習、生活、進路等についての情報を共有し、諸課題の解決に向け努力を続けていく。 【状況】台風や大雨の際、学校からのメール配信が確実に届くように、学校メールの登録率を100%にする必要がある。	学年 全教員	B
③開かれた学校の推進	【取組】美化活動を通じた地域貢献、部活動における地域連携協力の充実を図り、地域のボランティアの依頼などには今後も応えていく。また、本校定時制の活動の様子を積極的に発信し、地域社会への浸透を図っていく。 【状況】校外清掃の実施2回	学年 全教員 顧問	A

【重点目標達成のための具体的方策】

重点目標	具体的な数値目標		
①組織力を強化した学校運営の推進	・学校評価アンケート回収率	生徒	95%以上
		保護者	95%以上
		地域住民	20%以上
		教職員	100%以上
②カリキュラムマネジメントによる教育内容の充実	・生徒による授業評価において以下の数値を目指す。 熱心に指導してくれる先生が多い		80%以上
	資格取得に興味や価値を感じている		80%以上
③進路実績・生活・心身の健康・体力の向上	・進路希望達成率		90%以上
	・進路説明会	年	1回以上
	・在り方・生き方を踏まえた進路講演会	年	1回以上
	・学校評価の「進路指導満足度」肯定的回答		80%以上
	・学校評価アンケートにおける生徒の学校行事への満足度		70%以上
④学年経営力、学級経営力の強化	・部活動加入率		90%以上
	・奉仕体験活動、地域交流、ボランティア活動参加	年	2回以上
	・健康講話・交通安全教室・セーフティ教室・精神科医による学校保健支援事業の実施	年	4回以上
	・体力テスト前年度5%増、健康診断受診率		100%
⑤地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学	・学校説明会の延べ参加者数		20人以上(保護者含む)
	・ホームページの更新回数	週	1回以上
	・生徒による授業評価による校内研修	年	2回以上
	・研究授業	年	3回以上